

登録コード	UAF24500	開講年度	2026			
授業題目	社会心理学特論（産業・労働分野に関する理論と支援の展開）				担当教員	川崎 隆
					副担当	
単位数	2	講義期間	後期	曜日・時限	木曜・3時限	
				授業形態	講義	
信大コンピテンシー 該当						
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」				【授業の達成目標】	
	2 4 UAカリ・総人社・心理長野・発達・認知・人間科学, 2 4 UAカリ・総人社・心理長野・臨床心理学, 2 3 UAカリ・総人社・心理長野・発達・認知・人間科学					
	【研究科共通】自身の専門分野における高度な知識と技能を有する。				社会心理学における高度な知識と技能を有し、産業・労働領域で応用できる。	
	2 4 UAカリ・総人社・心理長野・発達・認知・人間科学, 2 3 UAカリ・総人社・心理長野・発達・認知・人間科学					
	【心理・長野臨床以外】心理学分野の高度な知識・技能を有する。				社会心理学における高度な知識と技能を有し、産業・労働領域で応用できる。	
	2 4 UAカリ・総人社・心理長野・臨床心理学					
	【心理・長野臨床】心理学分野の高度な知識・技能を有する。				社会心理学における高度な知識と技能を有し、産業・労働領域で応用できる。	
	2 6 UAカリ・総人社・心理長野・発達・認知・人間科学, 2 6 UAカリ・総人社・心理長野・臨床心理学, 2 5 UAカリ・総人社・心理長野・発達・認知・人間科学, 2 5 UAカリ・総人社・心理長野・臨床心理学					
	【心理】心理学分野の高度な知識・技能を有する。				社会臨床心理学における高度な知識と技能を有し、産業・労働領域で応用できる。	
	【心理】量的・質的分析方法を身につけると同時に、地域・社会・経済の抱える課題について、課題解決に必要な情報を収集する能力及び収集した情報を適切に分析する能力を有する。各領域の特徴を学び多面的に展開できる応用力を有する。資格取得を目指すものは、心理に関する支援を要する者の心理状態を分析する力、心理学分野の知識・技能を相談及び助言に応用する能力を有する。				社会心理学における高度な知識と技能を有し、産業・労働領域で応用できる。	
	【心理】多領域のステークホルダーを動員し、地域・社会の課題に対して主体的に取り組みながら、独創的な提案を行う力、問題解決に不可欠な総合的なシナリオを提示できる提案力を有する。資格取得を目指すものは、心理に関する効果的な支援を提案できる能力を有する。				社会心理学における高度な知識と技能を有し、産業・労働領域で応用できる。	
(2)授業の概要	社会心理学の知見には臨床心理学の分野に応用できるものがあり、本授業では両学問の知見の交差する部分を学ぶ。また、本授業では働く人を支援する産業・労働分野で扱われるトピックについて学び、産業・労働分野に関わる支援者として必要な理論や支援の方法を学習する。本授業では受講生は、トピックを1つ選択し、概要、関連する研究、模擬事例やディスカッションポイント等を発表する。 なお、授業で扱うトピックは受講者との協議のうえで一部変更する可能性がある。					
(3)授業計画	第1回：ガイダンス、社会心理学と臨床心理学の交差、産業領域の関連法規 第2回：自己意識、自己開示と対人不安 第3回：原因帰属と抑うつ 第4回：ソーシャルサポートと心の健康 第5回：職場のメンタルヘルス支援、ストレスチェック 第6回：ワークライフバランス 第7回：精神障害者の就労支援、発達障害者の就労支援、ひきこもり者の就労支援 第8回：職場復帰支援とリワーク 第9回：ハラスメント 第10回：自殺予防と危機対応 第11回：キャリア支援、就活生支援 第12回：支援者支援 第13回：キャリアインタビュー 第14回：キャリアインタビュー 期末試験：無 期末レポート：有 ＊授業最終回に授業アンケートを実施します					
(4)成績評価の方法	資料作成等での授業の事前準備（30%） 授業中のディスカッションへの参加(20%） 毎回のレスポンス・レポート（10%） 最終課題(40%）					
(5)成績評価の基準	（ ）担当部分の資料作成等での授業の事前準備 （ ）授業中のディスカッションへの積極的な参加 （ ）事前資料へのコメント・授業後の振り返りレポートにおける授業内容の理解度 （ ）課題の内容について自身の体験と照らし合わせて検討することができたか 上記のうち4項目すべてを満たしていれば「卓越している」という評価を与える。3項目を満たしていれば「かなり上にある」、2項目を満たしていれば「やや上にある」、1項目を満たしていれば「水準にある」と評価する。 得点率による評価基準は次のとおりとする。 90%以上 秀, 89-80% 優, 79-70% 良, 69-60% 可, 59%以下 不可。					

(6)事前事後学習の内容	【事前学習】 ・各時間のテーマに従い、担当を決める。 ・授業担当者は、参考文献・関連論文・資料等を用いて、講義資料を作成する。講義の中には、参加者の理解を深めるためのワーク（個人・グループ）を1つ以上準備し、授業資料と関連資料を事前にeAlps（フォーラム）上にあげる。 ・授業担当者以外は、eAlps（フォーラム）にあげられた資料を熟読する。 【事後学習】 ・講義およびワークを通して、印象に残った点や疑問点等を、レスポンス・レポートとして授業翌日までにeAlps（フォーラム）に記述する。
(7)履修上の注意	・授業で紹介される事例について、授業外で口外しないこと。守秘義務を意識すること。 ・自習に時間を割くことを苦にしない学生の受講を求める。 ・障害による修学上の困難がある方は授業開始前に相談してください。
(8)質問,相談への対応	川崎隆研究室（東校舎＊階***） TEL:026-238-**** e-mail:
【教科書】	指定しない
【参考書】	坂本真士・丹野義彦・安藤清志著『臨床社会心理学』東京大学出版会、2007年、ISBN：978-4130111225 末永俊郎・安藤清志編『現代社会心理学』、東京大学出版会、1998年、ISBN：978-4130120289